

リベルタ1月28日号に掲載されました



倉田 篤 医師

「未病」と云う言葉を耳にします。古来、発病にいたらないもの、軽い症状がある状態を指し、軽い異常を見つけて病気を予防する考え方だそうです。様々な検査ができる現代では、症状が無いのに検査値が異常な状態も未病とされ、未病を治療していくことが超高齢

化社会の問題である医療費増加の対策とされています。脂質異常症、糖尿病、高血圧などの生活習慣病が、まさしく未病です。これらの病気は血管を徐々に痛めつけ、血管内膜の障害が繰り返されると最終的には動脈硬化を引き起こします。動脈硬化は、血管の内部を狭め、脆い壁が動脈瘤になって破裂することもあります。内臓の循環は滞る危機にさらされ、突然起これば脳梗塞、心筋梗塞などが生じます。足の血管ならば急性動脈閉塞、大動脈ならば大動脈瘤破裂や急性大動脈解離などが起こり、まさしく命の危機に直結します。私たちは循環器病を扱う医者は、これらの未病が突然発



やさしい
医療講座33

未病を治す

大和成和病院
院長

倉田 篤

「病」した状態や「発病」寸前に、命を助ける手術をします。いわゆる高額医療です。この国の未来のためにも、定期的に検査を受けて「未病」のうちに治していきたいものです。

大和成和病院

- 心臓血管外科 ●循環器内科
- 外科 ●麻酔科 ●リハビリテーション科

☎046-278-3911

大和市南林間9-8-2

<http://www.seiwa.or.jp>

大和成和病院

検索

